

(別紙様式1)

平成31年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都 道 府 県 名 : 宮城県
農 業 委 員 会 名 : 岩沼市農業委員会

I 農業委員会の状況(平成31年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)	
総農家数	688	農業就業者数	667	認定農業者	93	
自給的農家数	211	女性	349	基本構想水準到達者	0	
販売農家数	477	40代以下	84	認定新規就農者	0	
主業農家数	62	※ 農林業センサスに基づいて記入。			農業参入法人	0
準主業農家数	180				集落営農経営	0
副業的農家数	235				特定農業団体	0
※ 農林業センサスに基づいて記入。				集落営農組織	0	

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	1270	262	262			1532
経営耕地面積	1200	97	89	7	1	1297
遊休農地面積	5.24	7.38	7.38			12.6
農地台帳面積	1374	461				1835

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

新制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 R 3 年 2 月 1 8 日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数	14	14			
認定農業者	—	8			
認定農業者に準ずる者	—	0			
女性	—	2			
40代以下	—	1			
中立委員	—	1			

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	7	7	3

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	1532 ha	1185 ha	77.3%
課 題	農業者の高齢化や後継者不足、被災による離農者の増加などにより農業の受け皿が減少しているが、農業生産法人などの担い手にさらに農地を集積し、農業基盤を強化することが必要。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 平成31年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 1225 ha (うち新規集積面積 40 ha)
	目標設定の考え方:R5年度までに担い手への集積率8割に到達するために必要
活動計画	人・農地プランに基づき集積していく。

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅲ 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	28年度新規参入者数	29年度新規参入者数	30年度新規参入者数
	0 経営体	0 経営体	0 経営体
課 題	青年の就農や他産業からの農業参入を支援する体制の整備		

※ 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

2 平成31年度の目標及び活動計画

目 標	1 経営体
活動計画	青年の就農や他産業からの農業参入を支援する体制の整備を充実させる

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅳ 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	1544. 6 ha	12.6 ha	0.82%
課 題	遊休農地を全て解消できるよう指導を継続して行う。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成31年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消面積 12.6 ha		
		目標設定の考え方:遊休農地を全て解消する。		
活 動 計 画	農地の利用状況 調査	調査員数(実数)		調査実施時期
		21 人		8月～10月
		調査結果取りまとめ時期 11月		
	農地の利用意向 調査	調査方法 農業委員・推進委員が2～3人で班編成し、農地を調査する。		
	その他			

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

Ⅴ 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	1532 ha	5. 19 ha
課 題	違反転用を全て解消できるよう継続して指導を行う。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 平成31年度の活動計画

活動計画	8月の利用状況調査時にタブレット端末を用いて実態を調査し、その後12月にかけて文書及び口頭で指導を行う。
------	--

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細 かつ具体的に記入